

合格体験記

先輩の言葉

①富山大学 経済学部 (R4)

私は、1,2年生の頃はまだ志望校が定まらず、ただ定期テストでいい点を取れるように頑張っていました。定期テストでは苦手な英語や数学を重点的に勉強し、気分が乗らなくなったら好きな日本史や現代社会の勉強をするようにしていました。3年生となり、進路を考えなければならなくなった時、担任の先生や進路の先生のお話の中で、国公立大学は私立大学よりも生徒の面倒を見てくれる、ということ聞き、私自身、自分で考えて何かをするよりは、誰かに教えられながらやる方が良かったので、これは自分に合っていると思い、国公立大学を目指すようになりました。

私は1,2年生の頑張りが評価され、推薦入試を受けられることとなりました。しかし、推薦入試のために1ヶ月間、小論文や面接の練習をすれば、その間は数学などの勉強が出来なくなることが不安で、挑戦するかを決めるのに多くの時間がかかりました。最終的には、小論文が英文読解を含むもので、一般入試の2次試験にも同じような問題形式で出題されることから、失敗しても2次試験対策にもなると考え、受験することにしました。結果は不合格でしたが、この1ヶ月の推薦入試対策で英語と国語がかなり伸び、次の模試ではかなりいい点をとることができたので、無駄ではなかったと思います。

共通テストに向けては、特別なことは特にしていませんが、私は積み重ねが大事だと思います。私の目指していた国公立大学受験では5教科全て必要でした。そこで、意識していたことは授業を大事にするということです。どうせ時間を使うなら、そこで理解しようと頑張りました。そして、好きだった日本史は定期テストで常に満点取れるように勉強していました。そのおかげで3年生の時に縄文時代からやり直さなくても良くなり、授業の進度にも左右されることがなくなりました。英単語は、ほぼ毎日、寝る前に勉強をしました。私は文法書を暗記するのが好きではなかったので、英文を読む中で使い方や文法の形を覚えていきました。しかし、自分1人で英文を読んで解説を見るのはすぐに疲れてしまうので、学校の補習を活用しました。補習は先生が大切な文法や単語を教えてくれたり、1人ではなく友達と一緒に勉強し、正解の数などで競ったりすることで楽しく覚えることができたと思います。そしてもうひとつ大事だと思うのは、過去問をしっかりとやることです。どれだけ英単語を覚えようが、日本史の単語を覚えようが、覚えた通り出るものは少しです。問題の形式に慣れていなかったら何の意味もありません。

これらの努力の結果、私は、共通テストで今までで1番いい点数が取れました。しかし、それで気が抜けてしまい、モチベーションがかなり下がってしまいました。そのため、自由登校になったあとも学校へ行き英作文の添削などをしてもらい、モチベーションを保ちました。共通テストでいい点だったことで、2次試験に必要な点数に余裕ができたこともあり、合格

出来ました。

受験勉強を続けていく中で、やめたい、疲れた、と思うことは沢山あるでしょうが、諦めたらこれまでの努力は水の泡となります。受験勉強を少しでも楽にできるように、得意教科だけでも継続して勉強することが大切だと思います。「継続は力なり」です。自分の行きたい大学へ行けるよう、自分を信じて頑張ってください！

②長野大学 企業情報学部 中京大学 心理学部 他 (R4)

私は高校三年生になっても志望校がなかなか決まらず、あまり受験勉強へのやる気が出ませんでした。しかし、周りの頑張っている友達を見て、私もやらなければいけないという気持ちになりました。結局、志望校を決めるのはだいぶ遅くなってしまいましたが、それまでは模試で高得点を取ることを目標にして勉強に励んでいました。

私は英語が苦手だったので、受験勉強には英語に一番時間を割いていたと思います。英単語や英熟語は毎日新しいものを覚えて、もう覚えたところも定期的に復習しました。長文と文法はまずは参考書を一冊完璧にすることで力が身につきました。リスニングは特に苦手だったので、ご飯を食べる時にリスニング対策用の動画を見たり、時間がある時はシャドーイングをしたりしました。最初は効果があるのか半信半疑でしたが、模試の点数は順調に上がりました。受験前はとにかく過去問と予想問題を解きました。間違えた問題は書き出してその日のうちに復習するとなかなか忘れないのでオススメです。

受験勉強は早めに志望校を決めて勉強するのが理想的だと思います。合格のために何をすれば良いか計画を立てられるし、過去問の対策も早いうちから始められます。しかし、まだ志望校が決められない人は、私のように模試で高得点を取るなど、とりあえずの目標を立ててみるといいと思います。目標を立てることで勉強に取り組みやすくなるはずです。今は行きたいところがなくても、偏差値を上げておくのには損はありません。受験は大変なので、嫌になることが何度もあると思います。頑張っているのに成果が出ないと落ち込んでしまうかもしれませんが、そんなことはよくあることなので、諦めずに最後まで夢を追いかけ続けてください。応援しています。

③愛知県立大学 教育福祉学部 (R4)

私は、高1の2学期に進路指導部で企画していた「夢現プロジェクト」に参加したことをきっかけに、自分を変えることができました。

他校の生徒と探究学習を行うプログラムに参加し、食品ロスについて探究学習をしました。参加当初は、やりたくないという気持ちもありましたが、「一生懸命取り組めば何か変わるかも！」と思い、実践してみたら、多くの発見を得ることができました。母校で食育の授業をさせていただいたり、愛知牧場でインタビューをするなど、貴重な体験となりました。これらの経験は、勉強面でも生かせると思い、実践しました。例えば数学では、「どうしてこの公式はこんな形してるんだろう？」など根本的な部分から考えることで、理解が深まりました。その結果、定期テストの順位を1桁まで上げることができました。これは、私にとって新たな勉強へのモチベーションとなり、意欲もどんどん湧いてくるようになりました。私はこのことから、勉強以外であっても、何かに一生懸命取り組むことは、新たな学びが得られるだけでなく、モチベーションを生み出すことや持続的に自分自身を高めることができ、結果として学力の向上につながるものだと感じました。そして私は、これらの経験を受験にも生かすべく、国公立大の推薦入試にチャレンジしました。面接練習では先生方にマンツーマンで指導していただき、上記の経験や、この経験を踏まえた理想の教師像を話す練習を毎日行いました。この自分にしかない貴重な経験と、面接練習のおかげで、合格を勝ち取れたのだと思います。

私がこの話で伝えたいことはもう一つあります。聞き慣れた言葉かもしれませんが、「今を一生懸命に生きること」です。「今一生懸命にやること」は未来への糧になりますが、「後回しにすること」は何も生まないどころか後悔を生みます。「後悔先に立たず」です。

④信州大学 繊維学部 (R4)

「私が今回の受験を通して最も重要だと感じた点は、「継続する」ということです。学校生活を振り返ってみると、特に2つの習慣が受験に活きたと感じました。始めに、私はなにかを継続することが大の苦手です。1年生の頃から学年の先生たちが勉強の習慣づけをサポートしてくださっていたのですが、なかなかうまくいきませんでした。3年生になっていざ受験で使う教科だと思ったときに、1年生の頃から苦手だった分野が手つかずの状態での挽回するのが精神的にも大変だったことから、早めに基礎を固めておけばよかった、と後悔は尽きません・・・そんな私が、継続できた習慣の1つ目は学校に行くことです。当たり前ですが、私が学校へ行く目的は、主に友達と過ごすことで勉強は二の次でした。そうは言っても学校に来さえすれば、授業が始まり、自動的に勉強することになります。また、学校に行くことは、現在進行形ですが、そのまた先もいいことで溢れています。「現在進行形で考えると、授業に出る＝勉強の抜けがない」、つまり学校を休んで自分で勉強するよりも、授業を受けて吸収するほうがはるかに楽であり、自分のためになると考えています。そして、その先というのは、今後の皆さんの進学や就職などについてです。私の経験上ですが、学校に行くこと、つまり欠席しないことは、授業においては休んだときと比べて吸収率が良い、自分の生活態度を認めてもらえるなど、将来的に得をすることが多い気がします。今日も学校に来た自分を褒めてあげてください。2つ目の習慣は、人の話を理解して聞くことです。皆さんは人の話を聞いていますか。家族や友達、先生など、話を聞く場面はたくさんあります。その中でも、授業は50分間理解しながら聞く必要があります。先生が板書していることだけでなく、話をしていることと共に理解する。機械的に写すのではなく、頭を使い考えながら写すことがポイントだと思います。だけど、それはなかなか難しいという人もいるかも知れません。そういう人は、先生がここは重要だと話していることをしっかり確認するようにして、授業で絶対に取りこぼさないという意識をもつ。身近の人が自分のために本気で言ってくれていることを、まずは理解しながら聞く、などから始めると良いと思います。人の話を深く聞くことができるようになると、世界の見え方が変わるかもしれません。私は高校生活で全部全力をモットーにしていました。勉強も部活も全力でやって、全力で楽しむことができました。受験と一言に言っても最後のペーパーテストだけが受験ではなく、この高校3年間の学校生活が、受験の1日1日であると感じました。良くも悪くも、やってきたことは自分に返ってきます。悔いのない高校生活を送れることを願っています。

⑤公立諏訪東京理科大学 工学部 (R4)

私は、公募制推薦制度で第1志望の公立諏訪東京理科大学に合格しました。私は、入学した時「定期考査でクラス1位を取る」ということを目標にして勉強を始めました。しかし、入学してすぐにコロナの影響で学校が休校になってしまいました。休校期間中は数学と英語の文法を毎日勉強していました。数学は教科書の例題を見て解き方を理解して練習問題を解きました。時々例題を見ても解き方が理解できなかったらYouTubeの授業動画を見て理解しました。英語はノートに大事なところをまとめ、そのノートを声に出して読み暗記し、入試レベルの問題を解きました。そして、定期考査に臨みました。その結果、クラスで1位を取ることができました。さらに数IAの合計が学年1位でした。その時、私はとても嬉しくなりもっと勉強して「学年3位以内を取りたい」と思い、勉強を続け、1年の最後の定期考査で学年3位を取ることができました。2年生になると勉強する内容が難しくなりさらに勉強しました。それでも

なかなかうまくいかないときがあつて困ったりするときもありましたが、周りの支えがあつて乗り越えることができました。3年生になると補習が始まり、模試を受けることが増えました。模試の判定が良くて大学に行くことを諦め専門に行こうと考えていた時に担任の先生から「国公立の推薦を受けてみないか」と言われ、何週間も悩み、担任の先生と何度も面談して最終的に受けることを決めました。受験は、数学の筆記試験と面接がありました。対策として数学の筆記試験は過去問を解きできなかった部分を復習するべきですが特に数ⅡBを中心にやった方が良いでしょう。最後に、私が受験勉強でやっていた勉強法を紹介します。それは「Study plus」というスマホアプリで勉強時間を可視化することです。参考書ごとに勉強時間を記録することができ、自分が何時間勉強したのかがすぐに分かります。さらに、フォロワー同士で「いいね」や「コメント」ができるのでモチベーションが上がります。受験勉強は早くやれば合格する可能性が上がります。最後まで諦めず頑張ってください。

⑥公立諏訪東京理科大学 工学部 (R5)

私は学校推薦で受験し、合格しました。推薦のことを知ったのは夏休み明けでした。そのため、推薦のための対策は10月下旬から始めました。面接はほとんどゼロからのスタートだったので、最初の方はボロボロでした。筆記試験の勉強は一般的な教科の勉強と同じだったので、あまり苦労はしませんでした。後悔や反省したことは、面接の練習をもっと早く始めればよかったことと、受験する大学に一度でも行っていけばよかったということです。受験する大学が県外だったため、下見しに行くのを躊躇っていました。受験当日は運良くバスを見つけることができ、何事もなく試験会場まで行くことができました。試験に関しては、面接があまり上手くいかなかったです。志望動機をととても深く聞かれて返答に困ってしまいました。筆記は問題量と時間にととても苦戦しました。しかし、当日は全く緊張していなかったので、いつもと同じ集中力で試験に臨むことができました。

自分が学力面で一番成長したと思っている時期は夏休みです。自分は夏休みにととても焦りを感じており、どの参考書を使えばいいのか、何から勉強すればいいのかと、全てに懐疑的になっていました。結局、夏休みの計画が立てられたのは8月の中旬でした。それまでは何の計画性もないまま勉強していました。それでも計画が立ってからは、自分の勉強に自信が持てるようになりました。なのでこれから何か勉強をするときは、とりあえず計画を立ててから始めることを決めました。これらのことは先生たちが散々言っていたことなのに、いざやろうとなると出来ないものです。受験の方法がどうであろうと、計画を立てることが全ての始まりだと思います。

⑥南山大学 総合政策学部 (R4)

僕が受験生活で特に大事だと思うことは習慣化、モチベーションの維持と対策です。早めのうちから英単語や古典単語等を毎日必ず〇〇単語覚えるという習慣をつけるだけで、勉強をしない日が無くなります。僕は毎日起きたら英単語を200個覚えて、夜寝る前に朝覚えた英単語を復習する事を習慣化していました。この習慣化をしていたお陰で、早い内から基礎を終わらせて次の段階に進むことが出来ました。モチベーションの維持に関しては、散歩等の運動や、音楽を聴いたり、YouTubeを見たり、美味しいものを食べたり、自分の気分がリフレッシュ出来るもの、ご褒美になる事をすれば何でもいいと思います。僕は元々、集中力が長く続く方では無いので、勉強の合間合間に2~3曲自分の好きな曲を聴いて休憩を

こまめに入れていました。僕は1日勉強しないよりも、中途半端なモチベーションで勉強をずっと続けた方が意味が無いと思うので他にも、1、2ヵ月に1回自分の好きなアーティストのライブに行ったり、遊びに行ったりする事でモチベーションを保っていました。志望校の先輩などの話を聞いたり、自分の大学入学後を想像したりする事もモチベーションの維持に繋がります。先生や塾の先生に相談をすれば必ず、志望大学の問題の特徴や対策等をしっかりと教えてくれます。問題の特徴を掴めば、自分に足りない部分を効率的に分析することもでき、それに伴い志望校合格の為の実力をしっかりと付けることができます。受験は全て自分の思い通りに行くとは限りません。僕は私立大学の文系ですが、最後まで社会が上手く伸びず、最終的な大学の2次試験では大学の入試傾向の特徴から社会の代わりに数学を使うことになりました。文系、特に私立大学志望の人は3年生になってから数学を疎かにしてしまいがちですが、大学によっては出題範囲が狭く、得点源にすることもできるので最初から諦めるのではなく最後までしっかりと向き合って欲しいです。最後に、受験において自分に合ったやり方を見つける事は凄く大事で、難しいことです。1から自分で見つけていくと、時間もかかってしまうし、途中で本当にこれで良いのか、と疑心暗鬼になってしまいます。そんな時は学校の先生や塾の先生、知り合いの先輩等からアドバイスややり方を聞いて自分でアレンジしていくと安心出来るし、合格にぐっと近づくことが出来ると思います。

⑥南山大学 法学部 (R5)

自分は、南山大学の人文学部に合格しました。受験勉強を始めた頃は、どのような勉強方法が適切か全く分かりませんでした。最初は英語の長文読解が全く理解できず、とても苦労しました。模試の成績も、このままでは通用しないという状況が続きました。

まずは、英単語や古文単語をひたすら覚えることから始めました。それによって、以前は理解できなかった英語や古文の文章にある程度対応できるようになりました。しかし、次に重要なことに気づきました。「こんなに長い文章を時間内に解き終えるのは無理だろう」ということです。時間内に解答を終えるために様々な工夫を試みましたが、共通テストでは全ての教科で分量と難易度が以前より上がっているということが分かり、かなり厳しい戦いが続きました。特に英語に関しては本当に苦戦しました。その中で、自分のクラスメイトにはどんな英文でも簡単に9割を取ってしまう人がいて、そういった優秀な人と比較して自分の成績の伸び悩みを痛感することが度々ありました。また、クラス内で「自分は〇〇点だった～」という会話がよくあり、自分がその点数より低くて悔しい思いをすることもしばしばありました。

しかし、諦めずに頑張り続けて、色々な大学の過去問を解いたりして力をつけていきました。そして南山大学に合格することができました。諦めずに努力を続けたことが、本当に自分の中では嬉しかったです。自分は日本史が得意だったので、得意な教科を伸ばして武器にするためにも努力しました。それが合格した要因の一つにもなったと思います。勉強していて楽しいと感じる教科の存在は必要だと思います。後輩の皆さんも、自分の好きな教科を見つけて、目標に向かって頑張りたいと思います。

⑥南山大学 外国語学部 英米 (R5)

私が合格のために大事だと思うことは、できるだけ早い時期に基礎を固めることです。基礎というのは英語や国語でいうと英単語や古典単語、数学でいうと教科書レベルの問題を解けるようにしたりすることです。基礎は受験勉強で1番大事だと言っても過言ではありません。例えば、基礎が固まっていないのに4月から難しめの参考書や問題に手をつけても、元の知識がないので応用力すらも身につかず、ただ時間を無駄にしてしまいます。できるだけ早い時期から基礎固めをすることで、他校のライバルより一歩早く演出にとりかかることが出来ます。そして、勉強面以外で個人的に大事だと思うのは休養やリフレッシュです。中には焦って全く休憩しなかったり、睡眠時間を削って勉強したりするという人がいるかもしれません。しかし実際に私も経験しましたが、休養をなくすと知らぬ間に脳が疲れて集中力が続かなかったり、長時間勉強しても内容が頭に入らなかつたりします。なので勉強時間を少し削ってでも休みはとったほうが良いと思います。そして焦りなく休憩するためにも受験勉強には早めから取り掛かるのが良いと思います。私のおすすめの休憩法は昼食後に15分ほどの仮眠を取ることと、外に出て散歩し日光を浴びることです。休憩時間にスマホをいじったりするより、外に出たほうがスッキリしてその後の勉強にも集中しやすいです。最後に、受験生の皆さんに心に留めておいて欲しいのは、良くも悪くも模試の判定に影響されすぎないことが大事という事です。私は共通テストで大滑りして、共通テストリサーチでは第一志望がE判定でした。しかし、それを深く考えすぎず最後まで諦めずに勉強した事で合格することができました。逆に、ずっと志望校がA判定だからと言って気を抜いて失敗する人もいます。本番何が起こるかわかりません。なのでみなさんには最後まで諦めずに全力で取り組んで欲しいと思います。

⑦愛知大学 経営学部 (R4)

私は部活を引退するまで受験勉強はしてきませんでした。なので、すぐに受験勉強に取り掛かるのは大変でしたが、単語は毎日やるようにしました。英単語や古典単語は覚えないと文章が読めないのだから早いうちからやっておくのが良いと思います。オススメは1日に100単語ずつやる方法です。最初は絶対覚えられません。ですが、それを毎日続けることで必ず覚えられます。要は復習が大事です！その他には秋頃から過去問をたくさん解くことが重要だと思います。赤本を何回も解いてその大学の傾向を知ることで大きく合格に近づくとします。また、私は家で集中できないので業後は毎日職員室前に残って勉強するように心がけていました。補習や授業はひとつひとつ無駄にしないようにしっかり取り組み、わからないところはすぐに先生や友達に質問して解決していました。分からないままにしておくとは後から苦しくなるので自分で調べても分からない時は質問するべきです。

そして、私は模試でいい結果が出せず1年間ずっとE判定でした。このままでいいのかと何度も心が折れました。でも「諦めない」ことが大事です。私は最後まで諦めずに頑張ったから合格することができたと思っています。なので皆さんも諦めない心を持って臨んでください。立ち止まってしまった時は一人で悩まずに先生や家族、友達などに相談して乗り越えていってください！

⑦愛知学院大学 健康科学部 (R5)

私は幼い頃から、保健体育の教員を志していたので、スポーツ系の学部に進学したいと考えていました。しかし、志望校が決まったのは3年生の夏休み前で、1、2年生の頃は大学について全く知識がありませんでした。そんな中で、1年生の時に推薦入試という学校に自分自身を推薦してもらい、入試方式を増やす方法を知りました。そのためには、学校の成績が必要であり、私は毎回のテストで常に上位を保ち、最終的には評定が4.9まで上がりました。芸術科目もあったため、テストの点数だけではどうにもならないこともありましたが、推薦してもらうことができました。3年生になり、部活も引退してからは本格的に勉強をする時期になりましたが、最初は何を勉強すればよいかわかりませんでした。その時に先生たちから基礎や単語から勉強することを勧められ、ターゲットの英単語やエンゲージの基礎的な文法などをゆっくりと進めていきました。その結果、苦手だった英長文が少しずつ読めるようになりました。他にも、ゆっくりとコツコツ進めることが大切だと気づきました。勉強は部活のように休みの日がなく大変ですが、「今日だけ頑張ろう」とか「今日は休もう」と思うと、次の日から絶対に怠けてしまうため、どんなに疲れていても、机に座りペンを握ることが大切だと思いました。毎日少しずつでも継続し、習慣にすることが大切です。1、2年生の間は部活などもあり、勉強に対する意欲が小さいため、まずは将来やりたいことや、行きたい大学、学部などを考え、入試方式を詳しく調べることから始めるべきです。その中で可能性を広げるためにも、毎回のテストや授業を大切にすることが必要だと思います。

⑧藤田医科大学 医療科学部 (R5)

私は進路がはっきりと決まった時のために、1年生の時から色々な活動をするように心掛けていました。毎年、室長か副室長になり、生徒会は2年生後期に書記、3年生前期に副会長になりました。ボランティアにも3年間所属していました。私の進路が2年生後期に決まったのですが、思い返せばやっておいた方が良かったことが沢山ありました。1つ目は、志望校のオープンキャンパスになるべく早めに参加することです。私は実際にキャンパスを見た時に藤田医科大学に行くことを決めました。志望する大学が決まるきっかけになるかもしれないので早めに行くことをおすすめします。2つ目は、勉強です。これは正直当たり前のことですが、私は受験が今年度にあるという実感があまりなかったので勉強に中々手がかかず、始めたのも遅かったです。特に後悔したことは、英単語です。私は1日50単語を覚えるのを1ヶ月続けた時に英文が以前より圧倒的に読めるようになっていたので、もっと早くから沢山英単語を覚えていたら英語力も変わっていたと思いました。3つ目は、行きたい大学のことをしっかりとサーチしておくことです。受験方式をあらかじめ決めておき、その方式の対策を早くから始めることで合格する確率はぐっと上がると思います。4つ目は他の人からの受け売りですが、切りかえる力を養うことです。私は藤田医科大学の総合型選抜では落ちてしまいました。ですが事前にこの言葉を聞いていたので、上手く切りかえることができました。落ちて引きずり過ぎず、その後に控える受験に腰を据えることが大事だと考えています。このアドバイスが役に立つことを祈ります。

⑧名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部 (R4)

私は、課題と予習、定期テストなどの勉強は3年間しっかりやりました。ですが、受験に向けての勉強はほとんどやっていなかったのので、模試の順位はいつも下から数えた方が早いくらいでした。このままじゃだめだと思いつつも、家で勉強できる気がしなかったのと、勉強の仕方が分からなかったのので、2年生～3年生の補習はほぼ全ての教科を受講していました。そしたら少しずつ点が上がるようになり、順位も模試の度に良くなりました。

私が受験勉強を始めたのは春が終わってからでした。周りの友達みんなが受験を意識するようになったので、焦ってみんなについて行きました。先述したように、私は1人家で集中して勉強をすることが出来ないのので、放課後学校に残り、職員室前で友達と一緒に勉強をしていました。分からないところを聞きあえることに加え、友達のみなどと放課後に残って話せる時間が楽しかったので、モチベーションを保つことができました。そもそも、受験勉強ってなにすればいいの？これはみなさん思いますよね！私は、とりあえず勉強を1からやりました。まずは公式や文法、単語をひたすら覚えめました。次に簡単な問題、最後はひたすら過去問を解きました。何度も解くと、どの速さで読んだら間に合うのかが分かってくるし、読むスピードもいつの間にか早くなります。私と同じように、勉強にやる気が出ない人は、補習を取ったり、家以外の場所で勉強したりしてみましょう。また、ともに高めあえる仲間の存在も大切だと思います！受験勉強を始める時期がおそかったり、志望校の判定が悪かったりしても大丈夫！！努力の積み重ねで確実に前進できます。あとは、課題や予習に真面目に取り組んだり、定期テストの勉強をしっかりとしたりするなど、当たり前のことはきちんとやっておきましょう！春から受験生のみなさん、頑張ってください！応援しています。

⑨金城学院大学 生活環境学部 (R5)

私が進路を具体的に考え始めたのは三年生になってからでした。大学に行きたいとは思っていましたが、興味のある学科がいくつかあり、具体的にどのようなことを学ぶことができるのかわからなかったのので、オープンキャンパスに行き興味のある学科すべての説明を聞きました。すると私が想像していた内容と異なったことを学ぶ学科であるということが分かり、どんなことを学ぶことができるのかより具体的に知ることができました。またそれぞれの大学に特色があるので、志望校や学科を決めるにあたりオープンキャンパスの参加は重要だと思います。私が本格的に受験勉強を始めたのは、部活を引退した後でした。私は塾には通っていませんでしたので、受験勉強の仕方がわかりませんでした。なので三年生の補習はほぼすべての時間を受講しました。また授業後は職員室前で勉強していました。分からないところは友達や先生に質問して解決するようにしていました。友達と一緒に勉強することで、友達も頑張っているのだから私も頑張ろうと思えるのでモチベーションを保つことができました。受験勉強で大切なことは基礎を疎かにしないことだと思います。教科書に載っている内容を完璧にしたり、基礎問題を繰り返し練習したりすることで土台が出来上がると思います。基礎問題ができないと応用問題も出来ないのので、基礎を固めることは受験勉強において大切なことだと思います。また基礎固めは一・二年生のうちにしておくと三年生になったときスムーズに受験勉強を始められるので、課題や定期テストを活用して基礎固めを行うと良いと思います。基礎固めができたなら大学の傾向や、どのくらいのスピードで解いたらいいのかわかるために過去問を沢山解くと良いと思います。努力の積み重ねが確実に得点に繋がります。春から受験生の皆さん、頑張ってください。

⑩名古屋短期大学 保育科 (R5)

高校卒業後、保育の道に進むことを決意し、名古屋短期大学への合格を目標にしました。私が高校1年生の時、進路のことは全く考えていませんでした。しかし、充実した高校生活を送るために、勉強や部活動だけでなく、ボランティアや生徒会にも積極的に参加しました。高校3年生の夏にはインターシップで保育園に行き、子供たちとの触れ合いや成長を見守ることに興味を持ちました。私は小さい頃から子供と常に触れ合える保育者に少し憧れがありました。そのインターシップでの体験をきっかけに、保育の道に進む決断ができました。教育が充実しており、実践的な経験を積める大学を見つけるために、カリキュラムや実習の機会などを綿密に調査し、自分の志向に合った大学を見つけました。

私は1、2年生時の努力が評価され、推薦入試を受けることができることになりました。合格するためには、志望調査書と面接の対策が欠かせませんでした。受験日の約1ヵ月前から、志望調査書の添削を先生方にしてもらい、自己分析や志望動機などを明確にしました。また、面接では、志望調査書に書いたこととは別の視点や情報を面接官に伝える練習を、先生方と何度も行いました。過去に出題された質問や友達にも手伝ってもらい、どんな問題にも答えられるように事前に対策しました。これらの対策のおかげで、無事合格することができました。

進路を決定する中で、好きなことや興味がないという方も少なくないと思います。進路を1つに絞ることに囚われず、様々なことを経験し、進路先の視野を広げることも大切だと思います。きっかけは意外に些細なものだったりするので、1人で悩むのではなく、友達とオープンキャンパスに行ったりして、様々な経験をしてください。

⑪公立春日井小牧看護専門学校 (R4)

私は、この3年間で、まずはひとつひとつの授業や定期考査をしっかりと取り組むよう心がけていました。1・2年生のころは、この科目は自分の進路で使わないだろうと思う授業もありました。でも、だからといってその科目を投げやりにせずに、とりあえずは、定期考査では良い点数をとろうという気持ちで取り組むとやるきがおきて、頑張ることが出来ました。どの科目にも、理解が追いつかない内容だったり、複雑な内容だったり、自分1人だけでは頑張れませんでした。なので、そういう時は、先生や友達を頼って教えて貰って、理解して、自分で解けるようになるまでその部分を繰り返すなどの努力はしていました。上位を目指していても、もちろん頑張っているのは自分だけでは無いので、思っていたよりも良い結果が出ないこともありました。そして、自分自身もなかなかやる気がおきなくて、成績が下がってしまった時期もありました。でも、受験生に近づいていくうちに、このままではいけないと思うようになりました。そして、1・2年生のころの定期考査だけでもという気持ちに加えて、受験も意識するようになり、また成績を上位の方に戻すことが出来ました。時には、色々なプレッシャーで辛いと感じる時期もありました。そういう時もひとりじゃ絶対乗り越えられないので、先生・家族・友達にたくさん相談していました。勉強以外のことだと校内のボランティア活動に参加したり、室長をやったりなど、色々なことに挑戦するようにしていました。色々な経験をすることで、普段の勉強だけじゃ得られないような事も学べたと思います。もう進路先が決まっている人も、まだこれから決めるとい人も、とにかくまずは、ひとつひとつの定期考査で良い成績を残すというモチベーションで、頑張ってみてください。あとは、先生方のことを信じて頑張ったらすぐには無理でも必ず良い結果になってくると思います。みなさん頑張ってください。

⑫名古屋 ECO 動物海洋専門学校 水族館アクアリスト専攻 (R4)

私には幼い頃から叶えたい夢があります。その夢を叶えるために大学に進学するか専門学校に進学するか悩みました。1年生の時はまだ具体的には決めておらず、どの道に進学しても困らないように終礼テストや日々の授業で行われている小テストは不合格にならないように、定期考査では上位をめざして勉強に励みました。また、私のなりたい職業はどのような分野か、どんな資格が必要なのかを調べ、様々な大学、専門学校を比較しました。先生との面談を通して2年生の前半には進路を専門学校に決めました。決めてからはインターネットでその専門学校の受験方式やこういった授業が行われているかなどの情報をより深く調べ、オープンキャンパスにも何度も参加しました。オープンキャンパスではその学校の雰囲気や自分の目で確かめることも実際に通っている先輩方の話も聞いて学校生活に関する質問も直接聞くこともできるのでとても参考になります。みなさんも少しでも気になる学校があればオープンキャンパスに参加したり資料を請求したりすることをおすすめします。受験対策として私は試験内容が作文と面接でした。作文に関しては専門学校側が書くポイントを教えて下さり、それに沿って自分の気持ちが伝わるように書きました。面接はまず志望理由を箇条書きでたくさん書き出して上手く文につなげられるように考えました。その他の内容も考え、家で面接練習をしました。受験当日の面接は本当に緊張しましたが、試験官の目をしっかり見て「私はこの学校に通いたい！」という気持ちを精一杯伝えました。そして合格することができました。その後はつい気が緩みそうになりましたが、まだこれから受験する友達がいるのを忘れずに授業はしっかり聞いて定期考査も最後まで気を抜かず頑張りました。

「受験勉強をしたくないから」「専門学校の方が楽そう」などの今を逃れるためだけの理由で専門学校を選ぼうとしている人はもう一度考え直してみてください。そういった軽い気持ちで入学してきた人はやめていく率が高いという話を実際に聞きます。なので、本当に自分がやりたいこと、学びたいことを見つけ大学でも専門学校でも就職でも後悔が残らないように学校生活を送ってください。受験勉強は辛く大変だと思いますが、自分を信じて最後まで頑張ってください！ 応援しています！！

⑫中部楽器技術専門学校 (R5)

私は勉強が苦手でした。1、2年生のころは定期考査で赤点も取らないことが目標で、自分が興味を持っている道に本当に進むかどうかもあやふやでした。3年生になり進路をしっかりと考え始め、小さい頃から習っているピアノや音楽にこれからも関わりたいと思い、大学や専門学校を調べ、自分が本当にどの道に進みたいのか考えました。家族やピアノの先生にも相談に乗ってもらい、進路を専門学校に決めました。決めてからは専門学校について詳しく調べ、オープンキャンパスに参加しました。そのオープンキャンパスで、この学校に入学する人の9割がAO入試で入学することを聞きました。AO入試を受ける条件として、オープンキャンパスに一回以上参加することがあったので、情報をネットで得るだけでなく、オープンキャンパスに参加することの大切さを感じました。専門学校は高校受験や大学受験と違い、過去問題があるわけでも、ネットで探して詳しく出てくるわけでもありません。私が決めた専門学校は、受験対策用のオープンキャンパスがあり、そのオープンキャンパスで今までの受験の傾向を教えてくださいなど、模擬試験を参加者全員が受けることができました。なので、受験対策用のオープンキャンパスがある学校は絶対に参加した方がいいと思います。受験に合格して冬からは入学前教育があり、専門学校から入学後スムーズに勉強が開始できるよう、事前に課題が出されます。課題もそれなりに量があるので、計画を立てて進めました。どの進路に進む人も1、2年生から勉強を頑張り、進路の幅を広げるなど、部活に熱中して色々な経験をして欲しいです。